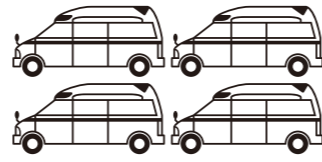


およそ **2,700万円**
救急車の1台の値段は?
(平成22年度決算額)

救急車には、隊長、機関員、隊員の3人が搭乗し、そのうち1人以上が救急救命士の資格を持つ。また、車内には患者監視モニターや、吸引器、血圧計など100種類以上の資材・機材が装備されており、患者さんの容態に合わせた救急処置を行うことができる。



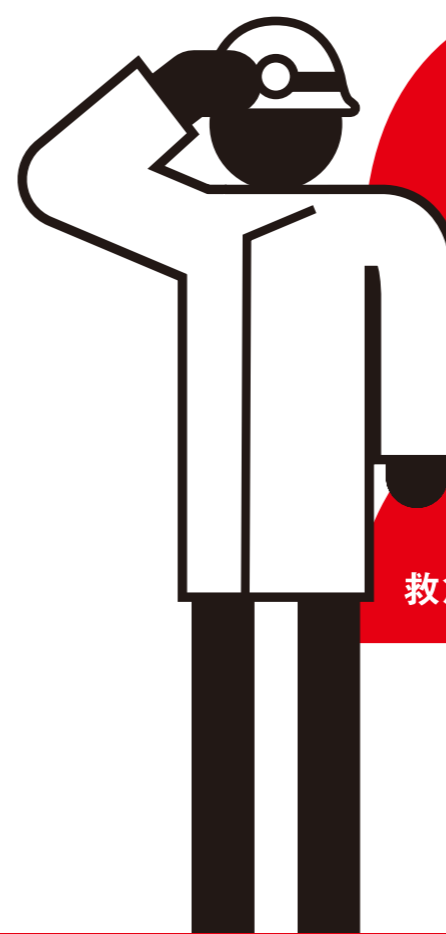
およそ **4回/1日**
(3.99回)
(平成22年)

救急車は1台あたり1日何回、出動しているの?
平成22年1年間では、30,575回出動。1日あたり83.8回で17.2分に1回出動している。市内全体の救急車の数は21台なので、平均すると1台あたりおよそ4回出動している計算になる。一番多く出動したのは南消防署の救急車で3,011回。1日あたり8.25回である。

出動回数No.1
南消防署の救急車
8.25回/1日

29:1
(有資格者316人中11人)

女性隊員の数って、どれくらい?
(平成23年4月現在)
女性の救急隊員は、全体数からみるとまだまだ少ないが、確実に数が増えている。細かな心配りから、女性の患者さんからは「女性隊員の対応は安心できる」といった感想も聞かれ、女性隊員ならではの役割に、大きな期待が寄せられている。



救急隊員の1日の拘束時間 **時間**

救急隊員は基本的に、丸1日(24時間)を職場で過ごす。奇数日出勤チームと偶数日出勤チームが1日交代で職務に就き、大きな災害などの緊急時には、両チームで救援に当たる仕組み。勤務日には、交代で仮眠を取るとはいえ、15時間30分の勤務が割り振られ、厳しい勤務体制で市民の安全を守っている。

浜松の救急体制を支える 救急隊員の

の1日。

午前8時50分
～9時

午前9時～翌午前8時50分 24時間出動待機

午前8時50分～9時

大交代

119

出動

**不規則勤務にも
負けない心身**

交代で仮眠ができるのは午後10時～午前5時の間で5時間程度。その間にも、出動が重なれば、仮眠時間もなく、救急患者を搬送していることも。仮眠時間なので、ゆっくり熟睡できる「119」はない。

119

出動

**強い絆は
同じ釜の飯から**

救急隊員はいつ出動するか分からないので、決められた時間に食べることや、外に食事に行くことができない。以前は、チームの当番が仲間の食事を作ることがほとんどであった。「同じ釜の飯を一緒に食す」ことは、チームとしての信頼や団結心を養う一要因になっている。

119

出動

**講習・訓練・事務処理も
重要職務**

救急隊員は、出動待機以外にも、さまざまな仕事を行っている。例えば、救急講習の講師をしたり、体力づくりや現場を想定した訓練、資機材取扱訓練を受けたりしてスキルアップを図っている。もちろん、活動報告の作成などの事務処理も重要な職務である。

119

出動

**大交代で
情報の
バトンタッチ**

1日の職務を終えたチームが、次のチームにバトンタッチするのは、毎朝8時50分。車両や資機材の点検、何回かのような出動があったかなどを申し送りし、情報の共有化を徹底している。

119

出動

